

令和7年度 評価規準

江戸川区立西葛西中学校

教科	技術家庭(技術分野)	学年	第3学年
----	------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
材料と加工法	2	☐ 材料とは何かを知る。 ☐ 身の回りの製品に使われている材料を加工する技術を知る。 ☐ 材料の基本的な特徴を調べ、材料の特徴を生かした利用方法を知る。 ☐ 構造と部品を丈夫にする方法を知る。	☐ 金属の基本的な特徴についての知識を理解している。 ☐ 金属の基本的な特徴と、その特徴を生かした加工法についての知識を理解している。 ☐ 金属の基本的な特徴を生かした利用方法についての知識を理解している。 ☐ 構造と部品を丈夫にする方法についての知識を理解している。 ☐ 実際の建物などを例示しながら、構造と部品を丈夫にする方法についての知識を理解している。	☐ 木材、金属、プラスチックなどの特徴と、実際の製品での特徴を生かした利用方法についての知識を身につけている。 ☐ 金属の基本的な特徴についての知識を身につけている。 ☐ 金属の基本的な特徴と、その特徴を生かした加工法についての知識を身につけて、構想、設計できる。 ☐ 金属の基本的な特徴を生かした利用方法についての知識を身につけて、利用できる。 ☐ 構造と部品を丈夫にする方法についての知識を身につけている。 ☐ 実際の建物などを例示しながら、構造と部品を丈夫にする方法についての知識を身につけている。	☐ 身の回りの製品に使われている材料について、材料の種類や使われている理由を調べ、材料に求められることについて考えようとしている。 ☐ 木材、金属、プラスチックなどの特徴を調べようとしている。 ☐ 木材、金属、プラスチックなどの特徴を調べ、その特徴ごとにまとめようとしている。 ☐ 構造と部品を丈夫にする方法を進んで調べ、自分の製作品に活用しようとしている。 ☐ じょうぶな構造を考え、部品を加工する方法を進んで調べ、自分の製作品に活用しようとしている。
製作品の設計・製作	2	☐ 設計の手順を知る。 ☐ 使用目的や使用条件に即した製作品を構想できる。	☐ 製作に必要な図の書き方を理解している。 ☐ 木材の基本的な特徴を生かした利用方法についての知識を理解している。 ☐ 設計手順を知り、作業工程を理解している。 ☐ 安全・適切な製作や検査修正できる技能を身に付けている。	☐ 製作に必要な図の書き方を身に付けている。 ☐ 木材の基本的な特徴を生かした利用方法についての知識を身に付けている。 ☐ 設計手順を知り、作業工程を理解し、計画を具体化する力を身に付けている。 ☐ 安全・適切な製作や検査修正できる技能を身に付けて、評価、修正する力を身に付けている。	☐ 製作に必要な図の書き方を考えようとしている。 ☐ 木材の基本的な特徴を生かした利用方法を考えようとしている。 ☐ 設計手順を知り、作業工程を理解し、計画を具体化しようとしている。 ☐ 安全・適切な製作をしようとしている。
コンピュータと情報通信ネットワーク	5	☐ コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアを知る。 ☐ 身の回りにある入力装置と出力装置を知る。 ☐ 情報技術の特性を理解し、情報が社会に与える影響を知る。 ☐ 望ましい情報社会のために私たちが取るべき態度を身につける。 ☐ 情報モラルについて考える。	☐ ハードウェアについての知識を理解している。 ☐ ソフトウェアについて、さまざまな種類があることを理解し、それらに共通する分類についての知識を理解している。 ☐ コンピュータの5つの機能とその機能を果たす具体的な装置についての知識を理解している。 ☐ インターネットのプラス面やマイナス面についての知識を身につけている。 ☐ デジタル化した情報のプラス面やマイナス面についての知識を理解している。 ☐ 知的財産権の意味や内容、知的財産を守ることの必要性についての知識を理解している。	☐ ハードウェアについての知識を身に付けている。 ☐ ソフトウェアについて、さまざまな種類があることを理解し、それらに共通する分類についての知識を身に付けている。 ☐ コンピュータの6つの機能とその機能を果たす具体的な装置についての知識を身に付けている。 ☐ インターネットのプラス面やマイナス面についての知識を身に付けている。 ☐ 情報の技術の概念について理解している。	☐ コンピュータの機能や装置に関心を持ち、具体的な装置の機能についてまとめようとしている。 ☐ 情報通信ネットワークを利用するにあたって、発生する可能性のある問題について、最近の事例などを挙げながら、調べようとしている。 ☐ 人権や知的財産権の侵害など、情報発信に伴って発生する可能性のある問題や発信者としての責任を踏まえ、情報社会において適正に活動しようとしている。
4編2章 デジタル作品の設計・制作	5	☐ デジタル作品の制作手順を知る。 ☐ デジタル作品を設計し、制作する。	☐ 制作手順や情報の受け手を意識した設計についての知識を理解している。 ☐ 制作手順や情報の受け手を意識した設計を理解し、表現したい方法に合わせた設計についての知識を理解している。 ☐ デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についての知識を身に付けている。 ☐ デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法について理解し、著作権者への許諾方法についての知識を身につけている。	☐ 制作手順や情報の受け手を意識した設計についての知識を身に付けている。 ☐ デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についての知識を身に付けている。 ☐ 入出力されるデータの流れをもとに制御システムを構想する力を身に付けている。	☐ デジタル作品の制作に関わる素材の権利と著作物の利用方法についてのまとめることができる。 ☐ 入出力されるデータの流れをもとに制御システムを構想しようすることができる。
計測と制御	5	☐ 計測と制御について知る。 ☐ プログラミングをしよう。	☐ 世の中の計測と制御について知り、理解できる。 ☐ ソフトウェアを使用し、プログラムの基礎が理解できる。	☐ 計測と制御がどのような働きがあるか理解し、フローチャートに表現できる。 ☐ 順次処理・反復・分岐処理を状況に応じて使用し、プログラミングができる。	☐ 世の中にある計測と制御に興味をもち、意欲的に取り組むことができる。 ☐ プログラミングに興味をもち、意欲的に取り組むことができる。